



漢方製剤

血の巡りをよくする 体の内側から肌を整える

メグリナ



服用に際して、この添付文書を必ずお読みください
 また必要な時に読めるよう大切に保管してください
 使用期限（パッケージ側面およびピンラベルに記載）を過ぎた製品は使用しないこと

第2類医薬品
漢方製剤

MEGURINA

販売名：メグリナ

製品特徴

- 肌の色ツヤ、潤いが足りない方に適しています
- しみや冷え症を改善します
- 苦味を感じにくく飲みやすい錠剤タイプの漢方薬です

⚠ 使用上の注意



相談すること

1. 次の人は服用前に医師または薬剤師に相談すること
 - (1) 医師の治療を受けている人
 - (2) 妊婦または妊娠していると思われる人
 - (3) 体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）
 - (4) 胃腸が弱く下痢しやすい人
 - (5) 高齢者
 - (6) 今までに薬により発疹・発赤、かゆみなどを起こしたことがある人
 - (7) 次の症状のある人
 - むくみ
 - (8) 次の診断を受けた人
 - 高血圧、心臓病、腎臓病
2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この添付文書を持って医師または薬剤師に相談すること
 - (1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振、胃部不快感、腹痛

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けること

症状の名称	症状
偽アルドステロン症	尿量が減少する、顔や手足がむくむ、まぶたが重くなる、手がこわばる、血圧が高くなる、頭痛などがあらわれる

- (2) 1ヶ月位服用しても症状がよくなる場合
3. 長期連用する場合には、医師または薬剤師に相談すること
4. 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続または増強が見られた場合には、服用を中止し、医師または薬剤師に相談すること
 - 下痢

効能・効果

体力中等度以下で、皮ふがあれてかさかさし、ときに色つやが悪く、胃腸障害はなく、肩がこり、疲れやすく精神不安やいらだちなどの精神神経症状、ときにかゆみ、便秘の傾向のあるものの次の諸症：

しみ、冷え症、湿疹・皮ふ炎、虚弱体質、月経不順、月経困難、更年期障害、血の道症注)

注) 血の道症とは、月経、妊娠、出産、産後、更年期など女性のホルモンの変動に伴って現れる精神不安やいらだちなどの精神神経症状および身体症状のことです

用法・用量

次の量を食前または食間に水または白湯で服用してください

年齢	1回量	1日服用回数
成人(15才以上)	6錠	3回
7才以上15才未満	4錠	
5才以上7才未満	3錠	
5才未満	服用しないこと	

※食間とは「食事と食事の間」を意味し、食後約2～3時間後のことをいいます

<用法・用量に関連する注意>

- 定められた用法・用量を厳守すること
- 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること
- 吸湿しやすいため、服用のつどキャップをよくしめること

成分・分量 1日量(18錠)中

加味逍遙散合四物湯エキス 3.9g


<原生薬換算量>

トウキ……………1.5g シャクヤク……………1.5g ビャクジュツ……………1.5g ブクリヨウ……………1.5g
サイコ……………1.5g センキュウ……………1.5g ジオウ……………1.5g カンゾウ……………1.0g
ポタンピ……………1.0g サンシシ……………1.0g ショウキョウ……………0.5g ハッカ……………0.5g

添加物として、無水ケイ酸、ケイ酸Al、CMC-Ca、ステアリン酸Mg、トウモロコシデンブンを含有する

保管および取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しいところに密栓して保管すること
- (2) 小児の手の届かないところに保管すること
- (3) 他の容器に入れ替えないこと(誤用の原因になったり品質が変わる)
- (4) 本剤をぬれた手で扱わないこと
- (5) ピンの中の詰め物は輸送時の破損防止用なので開封時に捨てること

 発売元
小林製薬株式会社
〒541-0045 大阪市中央区道修町4-4-10

製品のお問い合わせ先
お客様相談室 ☎06(6203)3625
受付時間 9:00~17:00 (土・日・祝日を除く)
ホームページアドレス <http://pr.kobayashi.co.jp>

製造販売元 **小林製薬株式会社**
〒567-0057 大阪府茨木市豊川1-30-3
MADE IN JAPAN 10099299